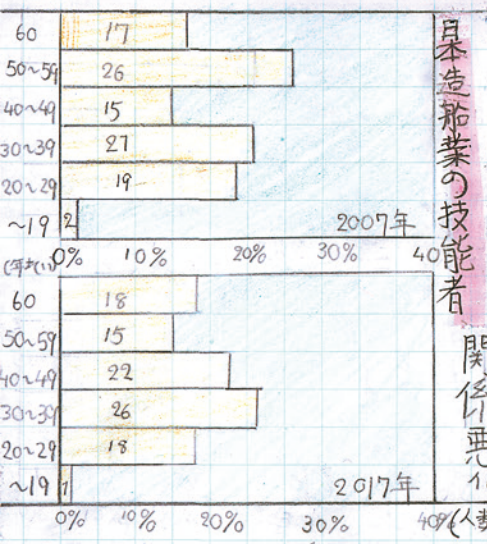
# 造船業とは？

私たちの生活や経済活動に必要な物資の多くを海外に依存しており，島国で四面を海に囲まれている日本にとって，物資輸送を担う船舶は必要不可欠な存在です。船舶には，国内における物資輸送や海の観測や調査・研究など，特に海に面した私たちが，今後も地球環境に配慮しながら国民生活や経済活動を支えるためにも，重要性がますます高まっていくと考えられます。このように用途が多岐にわたる船舶を生み出す「造船業」は必要不可欠な産業です。

日本に造船所がつくられたのは，江戸時代の末（黒船来航）のことです。やがて時代は明治へと移り，当時世界一の造船国であったイギリスから技術を学び，本格的な造船業がスタートしました。日本が急速に近代化してゆくなか，造船業の果たした役割は大変重要でした。それは，機械工業をつくるための各種の部品製造から，船をはじめとする輸送機器，さらにはその他の重工業の発展にいたるまでさまざまな工業のルーツになっているからです。現在の造船業は，




日本造船業の技能者関係悪化

韓国から入国者数，二〇一九年二十七%減った。

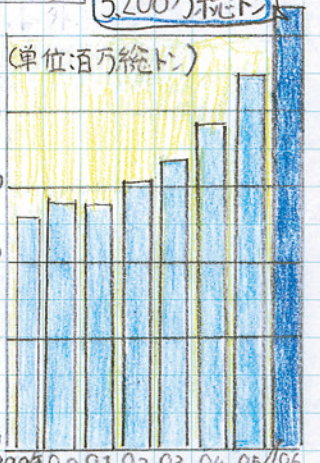
# 造船での世界とのつながり

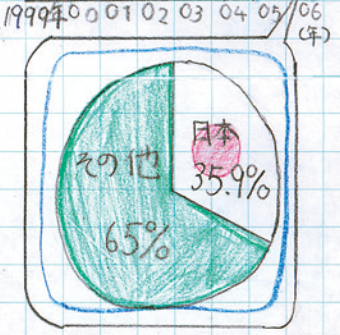
10月26日(月)
山田吏優

世界一の造船国となりました。

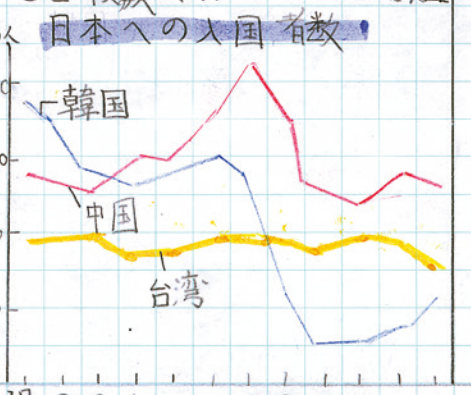
その後，二度にわたるオイルショックにより深刻な不況から，それでも韓国に転じるのは八年ぶり。

韓国から入国者数は，前年同月比五十%をもしくは，船台を進水させるこ

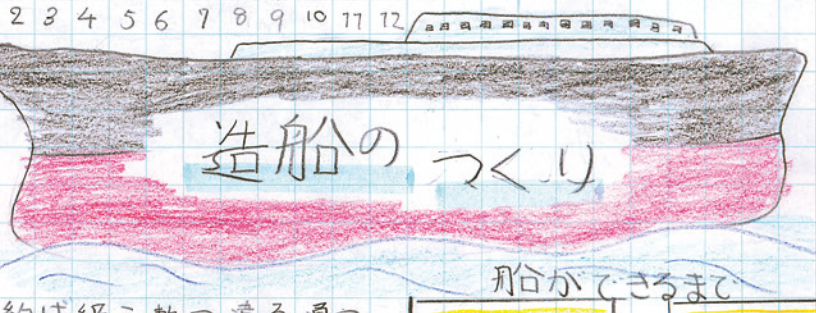


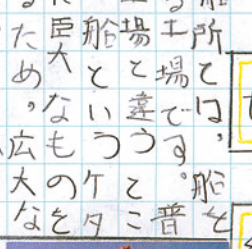
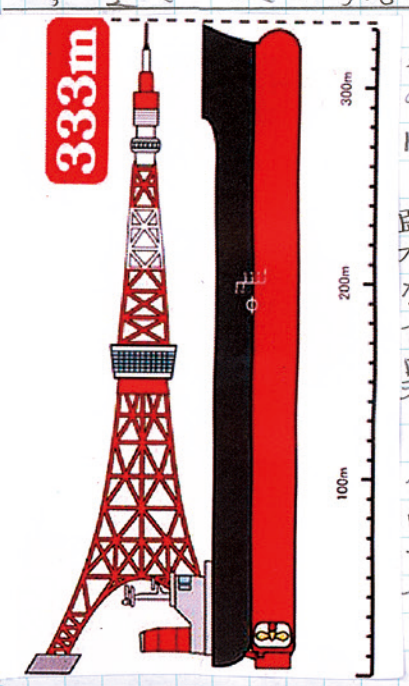
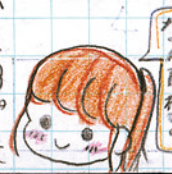

# 韓国と日本の関係




# 造船のつくり



船ができるまで

生産計画
↓
切断・加工
↓
組み立て
↓
艤装品取り付け
↓
ブロック搭載
↓
進水

引き合い
↓
仕様打合せ契約
↓
性能設計
↓
基本設計
↓
詳細設計
↓
生産設計
↓
資材注文